



包括だより 大迫版

3月

# おおはさまの小窓



## 小窓①

### 認知症サポーター養成講座を開催しました

今月は、2月19日、24日に行われた『認知症サポーター養成講座』の様子をご紹介します。  
 まず、2月19日は、社協大迫支部のヘルパー職員研修にお邪魔しました。日頃認知症のある高齢者に関わる機会も多いとの事で、今回は「認知症についての基礎知識と対応の仕方」についてお話しさせていただきました。また、実際に認知症の高齢者役・嫁役に分かれてロールプレイを行いました。双方の立場を体験したことで「お互いの気持ちがよく分かった。また、認知症の症状や対応方法について再確認することが出来たので、出来る範囲で認知症の方を支援、日頃の業務に生かしていきたい」との感想を頂きました。



講義中の様子



ロールプレイの様子



## 小窓②

2月24日は、ほのぼの会ひなまつり会にお邪魔しました。この日は認知症予防の要素も取り入れ、ひなまつりの飾りづくりを行いました。手先を動かすことや、一度覚えたことを思い出す、という作業は認知症予防に効果的です。みなさんそれぞれ個性があふれる素敵な作品が完成しました。また、認知症の方への対応を分かりやすく学ぶ、ということで、包括職員が寸劇を行いました。「買い物でうまく支払できない編」「財布がない！物盗られ妄想編」の二つの場面で、悪い対応と良い対応を見ていただきました。周囲の人が認知症を理解し、ちょっとした手助けをすることで、認知症の方は地域で安心して生活することが出来ます。今後も認知症サポーター養成講座を開催していきたいと思っておりますので、ぜひお声掛けください！



お雛様の壁掛け



包括職員による寸劇